

ロール搬送フィルムの膜厚測定

ロール形状フィルムの膜厚分布を、カットせずにそのまま測定することができます。

膜厚分布測定の概要

● 測定サンプル

ロール搬送機にハイパースペクトルカメラを用いたFiDiCa®を設置することにより、フィルム製造工程に近い形で膜厚測定の試験が可能です。フィルム搬送に伴い、連続的に膜厚分布を取得します。

● 測定範囲

独自アルゴリズムによる膜厚計算で、多層フィルムの各層の膜厚分布を高速に測定可能です。フィルム厚だけでなく、フィルム上のコーティング厚も計算することができます。

測定装置の説明

測定装置を図1に示します。低反射ロール位置にて、フィルムの干渉波形を撮影し膜厚を算出します。

フィルムが搬送されることにより、2次元の膜厚分布を連続的に測定することができます。測定結果例を図2に示します。

独自アルゴリズムを搭載し、撮影と同時にリアルタイムで膜厚の計算を実行します。高速な膜厚分布計算機能を搭載しているため、毎秒20ラインの膜厚測定が可能です。

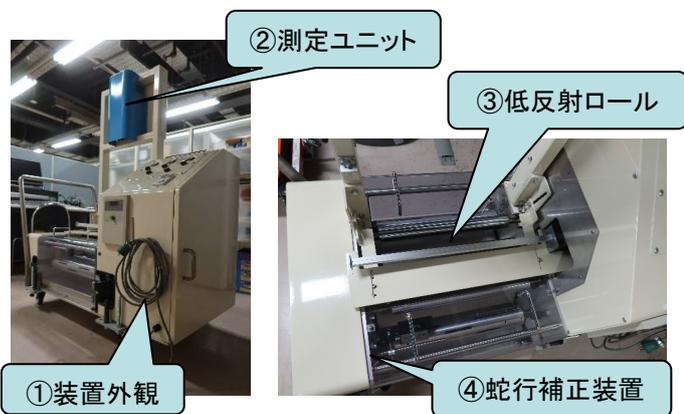


図1 測定装置外観と測定フィルムの搬送部

搬送装置の説明

搬送装置の仕様を表1に示します。

表1 搬送装置の仕様

項目	仕様
フィルム厚	20 μ m ~ 150 μ m
フィルム幅	最大350mm
搬送速度	最低速度6m/min 最高速度12m/min

搭載されている蛇行補正機能により、フィルムの位置ずれを抑制します。

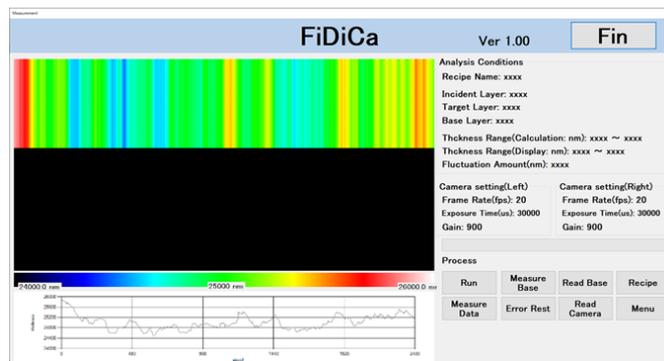


図2 測定中のソフトウェア画面例

ご提供サービス

・ 受託測定

フィルムサンプルをご送付・ご持参いただき、本測定装置での測定を行います。立会で測定結果を確認していただくことも可能です。

・ 装置購入

本装置の購入のご要望については、ご相談ください。